



架け橋

八雲町立熊石中学校 学校通信 第 10 号
令和6年1月26日発行

校 訓
自主 (知) 協調 (徳) 壮健 (体)

学校教育目標

自ら学びを広げる賢い生徒 (知)
自他を尊重し未来を拓く明るい生徒 (徳)
活力あふれる心身共にたくましい生徒 (体)

E-mail : kumaishi-jh@town.yakumo.hokkaido.jp
TEL : 01398(2)3396 Fax : 01398(2)2446

熊石中ホームページはこちらから → <https://www.town.yakumo.lg.jp/site/kumaishi-jh/>



「災害への備え」

校 長 田 手 淳

今年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、今年は元日から大きな地震があり、不安と衝撃の年明けとなりました。

まずこの石川県能登地方を震源とする令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

また、被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々に深く敬意を表します。

私たちの住むここ熊石も、石川県同様に日本海沿岸に位置しており、関内から相沼まで約15キロに渡る海岸沿いの町です。今回の地震の際にも熊石には津波注意報が発令されておりますし、これから起こるかもしれない地震とその備えに関しては、けして他人事ではありません。

生徒の皆さんが学校にいる時間帯に大きな地震が発生した場合は、保護者と連絡が取れるまで学校に待機させます。中学校は海拔34メートルの高さに位置しております。何メートルならば安全ということはありませんが、津波への対応と、校舎裏山のがけ崩れに注意し、生徒の安全を確保したいと思えます。通学路の安全が確認できない状況では、基本的に生徒のみで帰宅させることも致しません。

在宅時に大きな揺れが発生した時はどうするか。沿岸地域にお住まいの方は、すぐに高台に避難してください。今回の地震でも早いところでは地震から1分程度で津波が押し寄せているそうです。ほんのちょっとした判断の遅れが命にかかわってきます。太平洋側よりも日本海側の方が津波の発生スピードが速く、地形的な特徴から、何度も繰り返し発生するそうです。

とにかく1秒でも早く、自身の安全を確保するため、避難してほしいと思えます。

私たちはそもそも心理的に、「自分だけは大丈夫だ」と考えるようにできているそうです。これを「楽観性バイアス」と言います。日常では、この感覚があるから、新しいものに挑戦できるし、ちょっとした不安に立ち向かえますが、災害の時は、この楽観性バイアスが働くと、避難の遅れや判断の誤りにつながるそうです。自分だけは大丈夫と思わず、すぐに避難するという判断ができるように備えたいものです。後で、「こんなに大げさに高台まで登らなくても大丈夫だったな」と笑って話せるのも、命があつてこそなのであります。

災害はもちろん発生してほしくはありませんが、もしも熊石で大きな地震が発生した場合、家屋や道路などへの被害は覚悟しなければなりません。停電や断水、道路の寸断などもあるでしょう。電話もつながりにくくなり、連絡ができなくなると不安も増します。それでも命だけは何としても守りたいものです。学校は避難所になります。中学生の皆さんは、被災者ではありますが、避難所の運営にも協力してもらおうことになるはずです。

災害発生時に落ち着いて行動できるように日頃から備えをしつつ、とにかく今は、能登地方が一日も早く日常を取り戻すことと、熊石の今年一年が平穏であることを祈りたいと思えます。

スキー学習

今年度も学校運営協議会委員の宍戸英さんを講師にお迎えし、まず1月19日(金)に、1年生向けのスキーの技術講義をしていただきました。スキー靴の履き方、スキーで曲がる原理、スキー板へ体重を乗せるポイントなどについて学び、翌週22日(月)25日(木)の2回(23日は強風のため中止)、ひらたないスキー場を会場にスキー教室を実施しました。宍戸さんにアドバイスをいただき、生徒たちも、熱心に学習に取り組み、皆上達していました。



ピア・サポート集会

1月15日(月)、互いに相談しあい、支えあえる学校にしようと学級委員主催の、ピア・サポート集会が開かれました。1,2年生の委員が進行し、背中合わせで情報を伝える「一方通行」のコミュニケーションと、向き合って確認しあいながら情報を伝える「双方向」のコミュニケーションを体験し、感じたことを意見交流しました。

意見交流で生徒たちから、「顔を見ずに言葉だけで何かを伝えるのは結構難しい」「相手の表情がわかると、伝えたいことが伝わっているか確認出来てすごく安心する」などの意見が発表されていました。

近年 SNS 等で、文字情報による気持ちの行き違いが原因となるトラブルも少なくありません。

顔の表情やしぐさがコミュニケーションをするうえで大きな役割を果たしていることを実感していました。



救命救急講習

18日(木)5時間目2年生を対象に、熊石消防署の救急救命士をお二人お迎えし、AEDの使用

方法と心臓マッサージの方法を学習しました。

生徒たちは、「もし自分が実際に命を救う場面に遭遇したら…」と、真剣な表情で耳を傾けていました。



2月の行事予定

- 2日(金) 1,2年学力テスト
- 3日(土) 道南中学校対抗バドミントン大会
- 4日(日) 道南中学校対抗バドミントン大会
- 7日(水) 会議日 部活動停止
- 8日(木) なかよし学習
- 9日(金) 漢字検定
- 11日(日) 建国記念の日
- 12日(月) 振替休日
- 13日(火) 公立推薦入試
- 14日(水) 1,2年高校説明会 ALT 来校
職員会議 部活動停止
第3回CS会議
- 15日(木) 私立一般入試
- 16日(金) 少年の主張校内大会
修学旅行説明会 移動図書
- 18日(日) 英語検定2次
- 19日(月) 5時間(小中一貫全体会のため)
- 20日(火) 常任委員会
- 21日(水) ALT 来校 会議日 部活動停止
- 23日(木) 天皇誕生日
- 26日(月) 1,2年後期期末テスト
- 28日(水) ALT 来校 会議日 部活動停止
- 29日(金) 全校集会

生徒会レクリエーション

1月24日(水)生徒会主催のレクリエーションが開催されキンボールを楽しみました。みんなが楽しい明るい学校をめざし、生徒会執行部が企画進行しました。チームの仲間と力を合わせてボールをキャッチし、大いに盛り上がりました。



生徒会が募金活動

能登半島地震で被害にあわれている方々のために「今何かできることはないか」と、生徒会が話し合い、22日(月)から三日間、校内で募金活動を行いました。集まった募金額は総額17,224円となり日本赤十字社を通じて被災地へ送ります。ご協力くださった方々ありがとうございました。

